

空き家の管理

池田市が協定

シルバーセンターなど

放置された空き家を減らすと、池田市がシルバー人材センターと府不動産コンサルティング協会と協定を結び、空き家の適正管理に取り組む。センターのスタッフが空き家の見守りを担当し、協会が助言する。16日に倉田薫市長らが協定書に調印した。

見守りは9月から本格実施する。所有者から委託された空き家が対象で、建物の破損や雑草、郵便物、投棄物の有無など現状を確認する。協会は確認の手順を示したマニュアルを提供し、研修や指導も行う。センターは1回2500円で見守り業務を引き受け、除草や営繕などの作業も受け付ける。市によると、市内の空き家は約1千戸と推測

され、放置すれば街の景観を損なうほか、倒壊の危険もあるという。(吉村治彦)